

# キャベツ 就農パッケージ

松江市は  
あなたの  
やる気を  
応援します

松江市では、主に<sup>いや</sup>掛屋干拓の広大な農地と設備を活用してキャベツの生産が行われており、市場から『くにびきキャベツ』として認知され、高い評価を得ています

就農までの  
流れ

就農相談

研修  
1～2年

独立自営  
就農

経営  
モデル

## 【設備投資の例】

トラクター(大型)	700万円	ブームスプレーヤー	350万
トラクター(小型)	600万円	野菜移植機	130万
運搬車	60万円	カボチャ磨き機	20万
一般貨物自動車	200万円	格納庫	300万

設備投資額  
約2,360万円

## 1～4年目

研修期間中に就農に向けた準備を進め、就農1年目に機械や農地を取得。土づくりをし、キャベツの定植を始めます。2年ごとに農地を増やしていき売上を確保していきます。

キャベツの裏作として、カボチャの「ブラックのジョー」を組み合わせています。

収穫した野菜は、共同出荷施設、青果市場、市内産直店舗などに出荷できます。

## 5年目～

経営形態

本人+補助従事者1名+臨時雇用

経営規模

露地：480a(キャベツ420a、カボチャ60a)

農業所得

売上：1,610万円 経費：1,321万円

所得：288万円

年間総労働時間

3670hr ※うち季節雇用688hr

※就農5年後のモデルであり、所得を保障するものではありません。

※設備投資には補助事業が活用できる場合があります。

※農業経営においては、天候等の気象条件や技術レベル、資材価格の変動等によりこれらの値は変わります。

## 年間栽培スケジュール

